

芸術鑑賞講座「名画との対話」 | 受講のご案内

西洋美術史を彩る巨匠たちの美しい名画に秘められた絵画表現の意味と魅力を読み解きます。昨年度に引き続く形で、各時代の作家と作品をご紹介します。

- 講師：早川博明氏（当館元館長）
- 開催日程：6月～12月（全4回）

隔月第2土曜日 10:30～12:00 ※8月のみ第3土曜開催

- 会場：当館講堂（聴講無料）

- 第1回「ウィリアム・ターナー」（イギリス）6月10日
- 第2回「カスパー・フリードリヒ」（ドイツ）8月19日
- 第3回「フランシスコ・デ・ゴヤ」（スペイン）10月14日
- 第4回「ウジェーヌ・ドラクロワ」（フランス）12月9日

※事前の受講申込みは必要ありません。聴講ご希望の方は当日会場にお越しください。
※状況により、イベントの内容が変更となる場合があります。その際はホームページでお知らせします。

創作プログラムのご案内 | 受講生を募集します

「音の風景 -心象表現を楽しもう-」

美術館周辺の音を観察し、言葉と絵で表現します。参加者それぞれの完成品を鑑賞することで、感覚のあり方の共通点や異なりを楽しみましょう。

- 日時：5月13日(土) 9:40～12:10
- 講師：福田美里氏（作家）
- 対象：小学生から大人まで12名程度
（小学生は保護者同伴）
- 会場：当館実習室、庭園
- 材料費：500円

申し込み締め切り…5月5日(金) *先着順

お申し込み・お問い合わせは…

県立美術館「実技教室」係 電話024-531-5511

*美術館総合受付、美術館HPでも直接お申し込みいただけます。

4-5月の開館スケジュール（○印=休館日）

4月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

利用案内

開館時間…9時30分～17時（最終入館は16時30分）

休館日…月曜日（祝祭日にあたる場合は開館）、
祝祭日の翌日（土日にあたる場合は開館）、
年末年始（12月28日～1月4日）

観覧料…常設展：一般・大学生 280円（20名以上の団体は220円）、
高校生以下無料

企画展：展示により異なります。〈企画展〉欄をご覧ください。

*企画展料金で常設展もご覧いただけます。

常設展無料の日…こどもの日、県民の日（8/21）、敬老の日、文化の日
観覧料の減免…身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳
をお持ちの方は、常設展・企画展ともに無料です。（手帳をご提示ください）

交通案内

【JR福島駅・東口より】

- 電車…
福島交通飯坂線→「美術館
図書館前駅」下車、徒歩2分
- バス…
9番乗場より福島交通バス
・市内循環もりん2コース
→「県立美術館入口」下車、
徒歩3分
- タクシー…約5分

【自家用車の場合】

- 東北自動車道・福島飯坂IC
より市街地方向へ約15分



福島県立美術館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地
電話●024-531-5511 / ファックス●024-531-0447
ホームページ●<https://art-museum.fcs.ed.jp>



ART INFORMATION

福島県立美術館 ニュース

企画展

「美をつくしー大阪市立美術館
コレクション」
2023年3月21日[火・祝]ー5月21日[日]



《銅 湯瓶》鎌倉時代・13-14世紀 重要文化財 大阪市立美術館蔵

2023/4-5

vol.224

美をつくし

—大阪市立美術館コレクション

2023年3月21日[火・祝]～5月21日[日]

昭和11年(1936)5月、住友家の本邸があった天王寺茶臼山の地が、庭園(慶沢園)とともに大阪市に寄贈され、大阪市立美術館が開館しました。東京・京都に続く全国で三番目の公立美術館で、本館建物は戦前の大型美術館の貴重な例として、登録有形文化財となっています。

8,500件以上にのぼる所蔵作品は、日本・中国の絵画・書蹟・彫刻・工芸など多岐にわたり、関西を中心に活躍した財界人らが収集したコレクションをまとめて所蔵する点に特徴があります。中国書画の阿部コレクション、中国・石造彫刻の山口コレクション、仏教美術を中心とした東洋美術からなる田万コレクション、小西家伝来・尾形光琳関係資料、漆工品4,000件からなるカザールコレクション、近代日本画家の大作が揃う住友コレクションなど、古美術から近代の作品まで実に多彩な顔ぶれです。

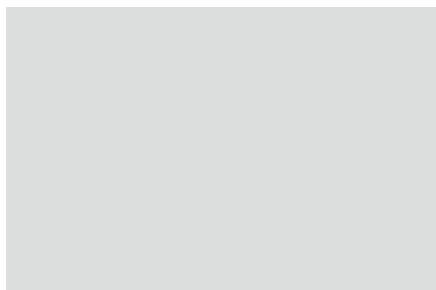
開館90周年を前に大規模な改修工事を行う休館の時期に、これらの名品から厳選された172件の作品を一堂にご紹介いたします。大阪が誇る東洋美術の精華を多くの方々にお楽しみいただけましたら幸いです。

*会期中展示替えがあります。

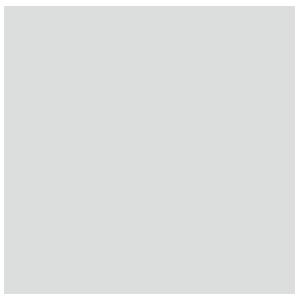
休館日●毎週月曜

観覧料●一般1,300(1,100)円、高校・大学生1,000(800)円、

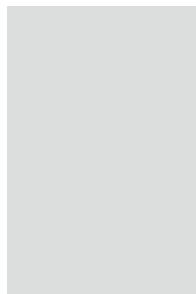
小・中学生400(300)円 *()内は20名以上の団体料金



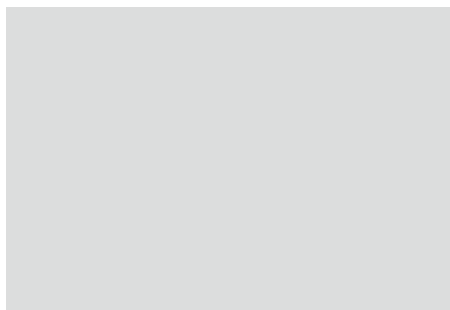
原正《猫図》江戸時代・18-19世紀 展示期間:4/18 - 5/21



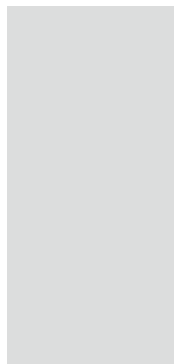
《青銅 鑿文壺》唐(商)時代・紀元前14-11世紀



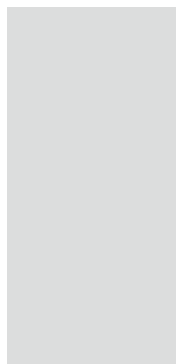
《石造 菩薩交脚像》南北朝時代北魏・5世紀



葛飾北斎《富士三十六景 神奈川沖浪裏》江戸時代・天保元年(1830)頃
展示期間:4/18 - 5/21



《豊臣秀吉像》桃山時代・慶長5年(1600年)
展示期間:3/21 - 4/16



上村松園《晩秋》昭和18年(1943)年
※すべて大阪市立美術館蔵

【関連イベント】

・講演会「大阪市立美術館のコレクションについて」

日時:3月21日(火・祝) 14:00～15:30

講師:内藤栄氏(大阪市立美術館館長)

会場:当館講堂(申込不要・聴講無料)

〈特集展示〉

眼にうつる詩

2023年5月30日[火]～6月18日[日]

古くから美術と文学は親和的な関係にあると考えられてきました。当館にも、物語を題材にしたシャガールの版画作品の他に、文学者と交流のあった恩地孝四郎や、自ら詩作もしていた竹久夢二の作品など、文学とゆかりの深い美術作品が多数収蔵されています。本展では、当館の収蔵作品から美術と文学の多彩なつながりを紹介し、美術を通して文学史の一側面を辿ります。



恩地孝四郎《水鳥》の著者 萩原朔太郎像1943年(1955年頃・平井版)当館蔵

休館日●毎週月曜

観覧料●本展は常設料金でご覧いただけます。

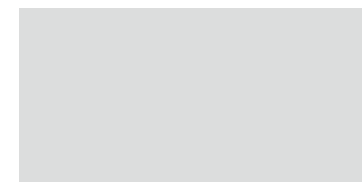
一般・大学生280円(20名以上の団体220円)

高校生以下無料

常設展示 | 福島県立美術館のコレクション

第I期 コレクション展

2023年3月18日[土]～6月18日[日]



小茂田青樹《薫房》1927年

【おもな展示内容】

- 春から初夏の日本画:安田靉彦《茶室》ほか
- 福島の洋画:鎌田正蔵、若松光一郎、橋本章ほか
- 西洋の近代版画:エルンスト《博物誌》、ルオー《ミセレーレ》ほか
- 追悼・大宮政郎